

No. 1614

全面対決

——リクルート裁判——

「リクルート事件」で贈収賄罪などに問われた文部省、NTT、政界ルートの初公判が東京地裁で開かれました。

12月11日文部省ルートで収賄容疑の高石邦夫前文部省事務次官。NTTルートの式場前NTT取締役などが出廷。高石被告は収賄を否認、式場被告らもリクルート社に便宜を図ったとの容疑を否認しました。

13日にはNTT前会長真藤恒被告も未公開株の譲渡は認めながらも収賄容疑は否認。

15日には受託収賄罪に問われた元内閣官房長官藤波孝生被告、前公明党代議士池田克也被告が出廷両被告とも請託、政治献金のわいろ性を全面否認。保釈以来192日ぶりに公の場に現れた贈収賄罪容疑のリクルート前会長江副浩正被告も「強引な取り調べで虚偽の供述を強いられた」と起訴事実を否認しました。

検察陣と全面対決となったリクルート裁判はロッキード裁判と同じく長期化の様相です。

ACミラン世界一

——トヨタカップ——

サッカーのクラブ世界一を争う「第10回トヨタカップ」は12月17日満員の東京国立競技場で行われました。

今年は欧州代表イタリアのACミランと南米代表コロンビアのナショナルメデジンの対決。

ACミランは昨年度欧州最優秀選手のファンバステン選手を筆頭にオランダ代表2人、イタリア代表6人の強豪チーム。

一方、ナショナルメデジンも11人がコロンビア代表といわばナショナルチームの戦い。

前半から両軍とも激しい当たりで相手チームをマーク。なかなかシュートチャンスを作れず得点出来ません。

後半、ACミランの絶妙なプレーもナショナルメデジンの好守にシュートが決まらず、お互いに一進一退の攻撃が続きます。

結局0:0のまま延長戦に入り終了2分前相手反則のフリーキックをACミランのエバン選手が守備陣の壁を抜くシュートで決勝点を奪いました。

国内リーグ34、チャンピオンズカップ9、そしてトヨタカップが44試合目！ 激闘の末にACミランはクラブチーム世界一になったのです。

平成2年
1990年